

マレビトの会 パライゾノート

作・演出◎松田正隆



月の舞台◎演劇公演

2007年
4/28(土)19:00・29(日)14:00

ワークショップ◎4/15(日)
アフタートーク◎4/29(日)



月の舞台◎演劇公演

『マレビトの会プロフィール』

2003年、舞台芸術の可能性を模索する集団として設立。集団の代表でもある、松田正隆の作・演出により、2004年5月に第一回公演『鳥式振動器官』を上演する。以降2作品を発表。京都の小劇場であるアトリエ劇研を作品創作の拠点としている。非日常の世界を構想しながらも、今日におけるリアルとは何かを思考し続けている。



声やうたて来た。それを語る。ただ、やうたてた声をつと語れば、それはまるでうわ言のようだ。語り始めたら最後、途切れることがない。まったく何を言っているかわからなくて、おそろしい。しかし、天国(場所なき場所)からの伝言はきつとそんな風だ。くるおしい。

松田正隆

『パライゾノート』
作・演出 松田正隆
出演 ぐまのはえ(ニットキャップシアター)
筒井加寿子



スタッフ
舞台監督：清水忠文
照明：高原文江
音響：奥村朋代
宣伝美術：祢津悠紀
制作：杉山準 本郷麻衣
企画・製作：特定非営利活動法人劇研

マレビトの会 『パライゾノート』

2007年 4月28日(土) 開演19:00・29日(日) 開演14:00 ※開場は開演30分前

会場◎月の舞台 (岡山市兵団3-32 スパイラル5F TEL.086-222-6367)

料金◎前売：一般3,000円 学生2,300円 全席自由
当日：一般3,500円 学生2,800円

【ワークショップ】

講師：松田正隆
日程：4月15日(日)13:00～18:00
会場：月の舞台
定員：15名
受講料：3,000円
内容：独自のテキストをもとに松田正隆指導による演劇演習。

【アフタートーク】

日程：4月29日(日) 終演後
会場：月の舞台
内容：演出家・出演者らと交えて『パライゾノート』を語る。

公演チケット取扱◎岡山：ぎんざや(TEL.086-222-3244)
岡山シンフォニーホールチケットセンター(TEL.086-234-2010)
倉敷：インディスク(TEL.086-422-1457)
「月の舞台」運営実行委員会事務局(TEL.086-222-6367)
NPO法人アートファーム(TEL.086-233-5175)

主催◎「月の舞台」運営実行委員会
共催◎医療法人イキイキ会、株式会社スパイラル
後援◎岡山県、岡山市、山陽新聞社
協力◎NPO法人アートファーム

お問合せ◎「月の舞台」運営実行委員会事務局

〒700-0805 岡山市兵団3-32 スパイラル5F
TEL/FAX=086-222-6367
URL=http://www.spiralring.jp/tukinobutai
e-mail=tukinobutai@spiralring.jp



※駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

【月の舞台】趣旨 旧家に代々受け継がれてきた能舞台の継承と再生を図るべく誕生した「月の舞台」は、伝統と現代が共存する舞台芸術の優れた精華を披露するとともに、併設された介護付有料老人ホームやデイサービス施設との連携により芸術文化と医療福祉を融合させ、未来につながるアートと地域社会の新しい出会いを醸成していく。